

## VII 足柄上地区 ～活力と魅力あふれる快適環境生活圏・足柄～

### ●主な取り組み

#### 1 産業や定住を支える基盤整備と企業誘致による活力づくり

酒匂川2号橋整備に着手したほか、県道78号(御殿場大井)地藏堂バイパスが完成し、南足柄市の飯沢栢山線、山北駅前の交通広場、松田町の新松田駅南口駅前広場の整備、山北町の都市再生整備計画の策定、開成町の南部開発事業を推進しました。

インベスト神奈川<sup>※1</sup>の適用第1号となる富士フィルム先進研究所が開所したほか、中小企業レベルでもインベスト神奈川の施設整備等の助成が認定されました。

また、農道の開設・整備に取り組み、農山村地域の基盤整備を推進しました。

#### 2 観光基盤の整備と地域資源の活用による交流の地域づくり

花と水の交流圏づくりの中核拠点として、開成町のあしがり郷・瀬戸屋敷が開園しました。また、南足柄市の狩川左岸堤防道路遊歩道、松田町の西平畑公園進入路、山北町の大野山乳牛育成牧場のふれあい交流施設(まきば館)が完成しました。さらに、中井町の厳島湿生公園とふれあいと交流の里づくり、大井町の酒匂川散策路・せせらぎづくりとおおいゆめの里、山北町の河村城址歴史公園と水源地域の交流基盤の整備を進めました。

都市住民との交流などを目的に、花と水の交流圏の情報発信を行うとともに、あしがら田園文化フォーラム、水源地域やフィルムコミッション<sup>※2</sup>の交流イベントを開催しました。

#### 3 農山村の資源を生かした元気づくり

イチジクの加工品や足柄茶を利用した烏龍茶などの開発・試作品販売、新規茶園の造成を進めたほか、農業の多様な担い手の育成を図るため、中高年ホームファーマー<sup>※3</sup>事業を行いました。

林道4路線の延長工事を進めるとともに、山北町では県産木材を活用したふるさと交流センターが整備されました。

#### 4 県民との協働・連携による水源の環境づくり

水源林の確保・整備の取り組みを進めるとともに、県民参加であしがら竹林再生事業を展開したほか、里山づくりにも取り組みました。また、水源地域などの環境保全のため、住民・企業・団体・行政が一体となって不投棄撲滅キャンペーンを実施しました。

### ●課題と今後の対応方向

活力と魅力あふれる地域づくりをめざし、定住の促進や地域経済を支える基盤の整備、観光・交流の促進のための基盤整備や情報発信、地域資源を生かした農林業の活性化、水源地域をはじめとする良好な環境の保全、災害に強く安全で安心してらせるまちづくりに取り組みます。



酒匂川2号橋の整備



西平畑公園

#### 地区の数値データ(指標)

●人口増加率 (単位: %)		
1995—2000	2000—2005	2005—2007
1.4 (2.5)	0.5 (3.5)	0.0 (1.1)

※( )内は全県の人口増加率(「神奈川県人口統計調査」より作成)

●製造品出荷額等 (暦年) (単位: 億円)		
2003	2004	2005
6,171 (3.3%)	6,004 (3.2%)	5,492 (2.8%)

(「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成)

●入込観光客数 (暦年) (単位: 千人)		
2004	2005	2006
3,877 (2.4%)	3,838 (2.4%)	3,869 (2.3%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

#### ●販売農家戸数、耕地面積、耕作放棄地面積 (単位: 戸、ha)

項目	2000	2005
販売農家戸数	2,075 (10.7%)	1,804 (11.0%)
耕地面積	2,438 (11.2%)	2,351 (11.1%)
耕作放棄地面積	234 (16.2%)	220 (13.8%)

(耕地面積は、「神奈川県農林水産統計年報」より作成、他は「世界農林業センサス結果概要」より作成)

#### ●水源の森林づくりで適切に管理されている森林面積 (単位: ha)

2003	2004	2005
2,437	2,625	2,887

(「森林課調べ」より作成)

※( )内は全県に占める割合

#### ※1 インベスト神奈川

県内への企業誘致や既存企業の県内再投資を促進し、県内への産業集積を図ることを目的とした神奈川県産業集積促進方策。

#### ※2 フィルムコミッション

自治体や商工会議所が設置する映像製作を支援する非営利組織で、映画やTV番組などの撮影を誘致して幅広く支援を行う組織。

#### ※3 中高年ホームファーマー

主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高年の方などに耕作していただくことで、県民の皆さんに健康と生きがい(の)場を提供し、併せて耕作放棄地を解消し農地の保全を図るものです。

## VIII 西湘地区 ～いきいき観光交流都市・西湘～

### ●主な取り組み

#### 1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり

歴史・文化・伝統を生かした観光資源として小田原城跡の馬出門や街かど博物館の整備が進むとともに、箱根関跡が完全復元され、全面公開されました。また、おだわら諏訪の原公園の整備を進め一部開園するとともに、湯河原町のさつきの郷や真鶴半島のお林展望公園など自然とふれあえる施設が整備されました。さらに、外国人観光客の一層の誘致に向け、中国や韓国の旅行会社を招聘した訪問ツアーの実施や、西さがみ連邦共和国<sup>※1</sup>による外国人もてなし講座の開催など外国人旅行者の受け入れ体制の整備・充実に努めています。

#### 2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり

箱根細工など伝統産業の後継者育成や技術研修の実施など地場産業の振興に努めるとともに、新たな産業集積のため、インベスト神奈川を活用して、西湘テクノパークなどへの企業誘致を推進しています。また、広域交流拠点として小田原駅東口駅前広場が整備されるなど活力と魅力あるまちづくりが進んでいます。さらに、安全で安心な農水産物を提供するため、農作物トレーサビリティシステム<sup>※2</sup>がかながわ西湘農協に導入されるとともに漁獲物鮮度保持施設が小田原漁港に整備されました。また、学校給食への地場産食材の活用や、小・中学生の農業体験、漁業体験の実施など、地産地消や食育を推進しています。

#### 3 交流・連携を支える道路網などの整備

小田原箱根道路や小田原環状道路を部分供用するなど交流幹線道路網の整備を進めるとともに、地域における農作物の流通の改善などを図るため、広域農道・小田原湯河原線等の整備に取り組んでいます。また、国道255号線などの歩道整備や電線の地中化を進めています。さらに、自然災害に強いまちづくりを進めるため山王川などの橋梁架替や護岸整備、小田原海岸における防潮扉の整備、勘三郎沢、椿沢や早雲山などの砂防施設等の整備を行うとともに、箱根で凍雪害対策の活動拠点整備を進めています。

### ●課題と今後の対応方向

自然、歴史・文化・伝統などの地域資源の活用や新たな観光ニーズへの対応などにより観光地としての魅力向上を図り、一層の観光客誘致を進めるとともに、新たな企業誘致や都市住民との交流促進など地域の特色を生かした産業振興により地域経済の活性化を促進します。

また、多様な交流や連携を支え、安全性を高めるため、道路網の整備や強化を進めます。

さらに、切迫性が指摘されている県西部地震などの自然災害から県民の生命や財産を守るため、基盤の整備や防災体制の強化を進めます。



お林展望公園(真鶴町)



広域農道・小田原湯河原線(小田原市早川)

#### 地区の数値データ(指標)

●入込観光客数 (暦年) (単位: 千人)			
	2004	2005	2006
日帰り	24,037 (16.4%)	24,299 (18.5%)	24,670 (16.3%)
宿泊	5,814 (44.8%)	5,441 (42.7%)	5,688 (42.1%)
計	29,851 (18.7%)	29,740 (18.5%)	30,358 (18.4%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

●外国人入込観光客数 (暦年) (単位: 人)			
	2003	2004	2005
箱根町・宿泊	52,441	69,325	71,794

(「箱根町調べ」より作成)

●小売業の年間商品販売額 (暦年) (単位: 億円)			
	1999	2002	2004
	3,256 (3.7%)	3,192 (3.8%)	3,006 (3.6%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成)

●事業所数 (単位: 事業所)			
	1991	1996	2001
	14,739 (4.6%)	14,713 (4.5%)	13,684 (4.4%)

(「事業所・企業統計調査」より作成)

●中心市街地流動客数 (単位: 人/日)			
	2004	2005	2006
	130,544	154,175	174,135

(「小田原市主要商店街流動客数調査」より作成)

●都市計画道路の整備率 (単位: %)			
	2003	2004	2005
	64.2	64.7	65.0

(「都市計画課調べ」より作成)

※( )内は全県に占める割合

#### ※1 西さがみ連邦共和国

地理的にも歴史的にも結びつきが深い小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町が一つの行政区・生活圏として協同する広域連携です。

#### ※2 トレーサビリティシステム

食品などの生産、加工、流通などの各段階で原材料の出所や製造元、販売先などの記録を記憶、保管し、食品とその情報を追跡できるようにすることで、食品の安全の確保や問題食品の追跡・回収を容易にし、食品の安全や品質、表示に対する消費者の信頼確保に役立てるものです。